

恵みの福音

2021 2

THE GOSPEL OF GRACE

発行2021年2月1日 毎月1回
 月刊 通巻第633号
 〒350-0434 埼玉県入間郡毛呂山町大字市場1132の1
 TEL 049-294-6012 FAX 049-295-2779
 宗教法人東洋ローア・キリスト伝道教会



大きな石臼

Photo by Rock Pine

あなたがたは地の塩です

マタイ五・13

マタイ5章7章は、イエス様の有名な「山上の説教」です。主は、八つの幸いに引き続き「あなたがたは地の塩です」と言われました。「地の塩になりなさい」とは言われていません。すでに、「地の塩」として存在していると言われています。

では、「あなたがた」とはどういう人のことでしょうか。すでに「イエス様を信じた人」と思い浮かびますが、山上の説教の全体の文脈で見ると、ただ信じているだけではなく、みことばを聞いて実行している人のことです。もし聞くだけの者であつたならば、本来の塩としての役割を果たすことはできません。ただ聞くだけの者は、塩気をなくした塩のように、「もう何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけ」の存在になってしまうのです。

キリスト者は世のものではありませんが、世に遣わされ、世にあつて地の塩として生きるのです(ヨハネ十七・18)。
 塩の効力はご存じの通り、腐敗を防ぎ、食物に味をつける働きもあります。このように、この世の腐敗を防ぎ、神から離れた失われた人々にあかしをする、すばらしい福音(味)を伝える働き(役割)がゆだねられているのです。

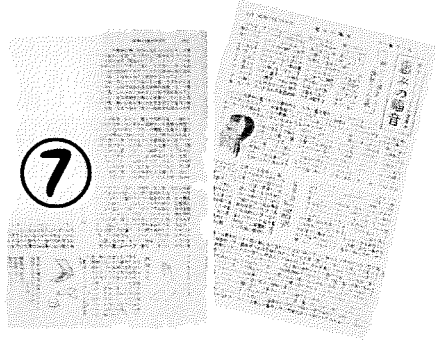
さらに、旧約聖書には「永遠の塩の契約となる」(民数記十八・19)、「神の契約の塩を欠かしてはならない」(レビ二・13)と、塩に言及されています。「永遠の塩の契約」「神の契約の塩」それは永遠の救い、神の契約が不変であるという意味です。そして契約の不変性は神の側の真実だけでなく、民の側の神への忠実さが求められています。キリストの贖いによって救われ、罪を赦され、きよめられた私たちはキリストによって永遠の塩の契約を持っています。それにふさわしく生きるように、キリストが自分のうちに生き、私たちが地の塩として効力を発揮するように歩んで行きましょう。

記録からたどる

コリエル師の足跡 ⑦

創立15周年記念大会出版

東洋ローアキリスト伝道教会



(1月号の続き)

「アメリカの各地をまわるために自動車を与えられるように」という祈りは、間もなく応えられました。11月16日、アメリカ到着から2週間後のことでした。新車の購入費は千ドル(當時は1ドルが三六〇円なので、三六万円)以上なのですが、半額の四九九ドルで中古車を購入することにになり、費用は各教会の献金で満たされました。車はさつそく大活躍。運転のほとんどは68歳の母宣教師が受け持たれ、九か月間の自動車の旅は約三七万キロになりました。これは地球9周分で、地球から月までの距離と同じくらいです。

かもしれません。一九五九年10月号「恵みの福音」に掲載された帰国報告には、妹さんとの再会の様子が次のように書かれています。

コリエル先生の末の妹さんが六年ぶりにお母さまとお姉さまにお会いになりますので、岸べきへこられていて着岸が待ち遠しくてソワソワとされて今にも泳いで船まできそうでしたよ。もう三十一才になるそうでしたけど、目には涙をキラリと光らせていましたワ。

さて、一九五九年2月号に掲載された4回目のアメリカだよりは、コリエル母娘宣教師のご家族が登場します。カリフォルニア州オークランドには、娘エミ師の妹さんが在住。コリエル師を乗せた船がサンペドロ港に到着した時、迎えに来ていたのは、この妹さん

アズ勿勿たより (4)
「オークランドでオーラル・ロバーツの集会へ」

さて、昨年(一九五八年)十二月二十四日にエダ・コリエル先生(娘宣教師)のお父様の家に行くことになりました。オークランドの妹さんのお宅からオークランドのお父様のお宅まで五百二十マイル(約八百三十二キロ、東京から函館、または東京から広島くらい)あります。

オレゴンに自動車で向う途中、山道を走りながら美しい景色を眺めました。

オレゴン州にて、米杉(REDWOOD)の並木の大きいこと、米杉の木の穴を自動車で通ることができました。

米杉の高さは三百十五フィート(約九十五メートル)です。木の囲りは二十一フィート(約六メートル半)もします。

お父様のお宅に無事に着きました。彼は大変喜びに満ち溢れておられました。エダ・コリエル

ル先生の次女（お母様は、エダ・マブル・コリエル先生、エミ・エダ・コリエル先生は長女です）の子供さんが八名おられました。一週間滞在の予定でしたが、子供さんが多くて我慢できませんでしたので、六日間滞在してオーランドにいる妹さんの家へ帰りました。

翌日オーランドの大集会で、皆様もご存知の現代大伝道者オーラル・ロバーツの説教、病人への癒しが一月二日から十二日まで行われますので、私たちもロバーツの説教を聞きに大集会に行っております。

主イエス様は、神のご栄光と御力をロバーツの上に注がれていることと存じます。

遠く離れていますみなさまが、こちらに来られないことを残念に思っております。

でも、変りない愛と恵み給う神に望みを抱いて信仰の前進をされますよう祈ります。

アーメン

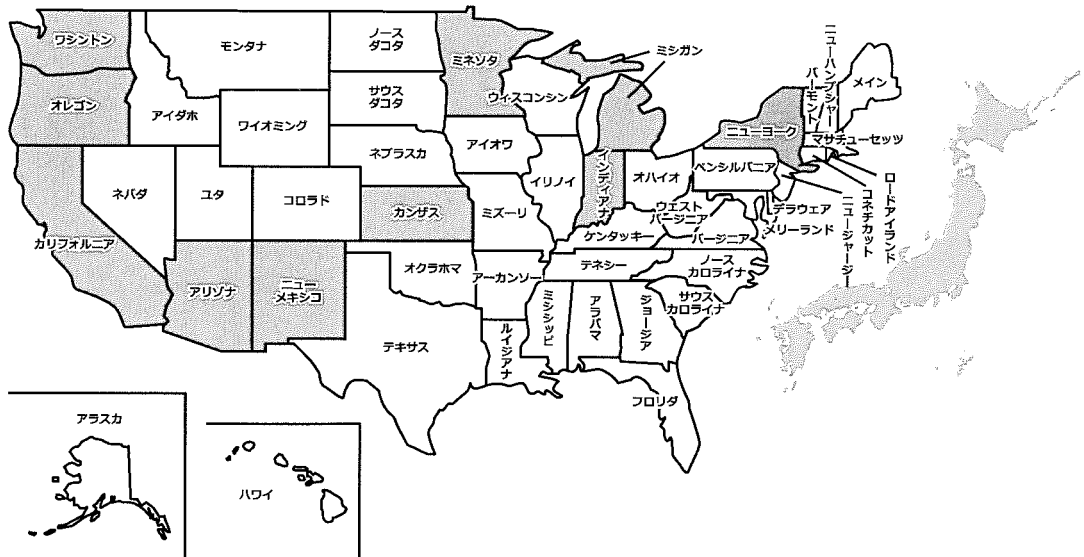
あなた方の主にある友
清田勝子

オーラル・ロバーツは、ペンテコステ派の伝道者で、癒やしの伝道者として知られた人物です。一九一八年生まれなので、当時40歳。ビリー・グラハムと同じ年で、コリエル娘宣教師と同年代です。

■ロバーツ・オーラル

アメリカのカリスマ運動の指導者、テレビ伝道者、オクラホマ・バプテスト、フィリッポス両大学で学び、一九三六年ペンテコステ・ホーリネス教団の牧師となる。一九四七年より同教団を離れ、超教派の立場でラジオ、テレビ、伝道集会を通して活躍、一九五〇年代より信仰によるいやしを強調しながら「新ペンテコステ主義」を名乗って広く活躍。一九六三年にはオクラホマ州タルサに「精神と肉体との調和のとれた人間の育成」をモットーにオーラル・ロバーツ大学を創立、学長に就任。
(いのちのことは社『新キリスト教辞典』より)

アメリカ旅行の訪問地と、同宿尺・同緯度の日本



大集会の後、コリエル師らはオークランドからロスアンゼルス（両方ともカリフォルニア州）に行き、更にアリゾナ州へ向かいます。当初、ロスアンゼルス滞在は1週間の予定でしたが、6箇所の教会訪問など2週間に延長されました。

ロスアンゼルスの出発は2月12日の朝。そして夜9時前に次の訪問地アリゾナ州に到着しました。アリゾナでは聾啞教会からの招待もあり、ここにも2週間滞在しました。

続いてカンザス州の聾啞教会から招待があり、ニューメキシコ経由で二泊三日の長い旅。アリゾナを2月23日朝に出発し、カンザス到着は25日の午後2時半でした。一泊目は野原での車中泊で、二泊目は3ドルの安いホテルです。

教会からの招待に応じて移動することがある一方、招待がないまま新しい土地に向かうこともあります。次の訪問地はまだ

教会からの招待がない中、3月中旬でも雪が降るミシガン州でした。その地でも主の導きによりデトロイト市の聾啞教会から招待があり、集会を持つことができました。以下は、一九五九年6月号「恵みの福音」からの抜粋です。

アフリカより(8)

「黒人ろうあ伝道師アフリカへ神のみことばに飢えかわく人々」

尊き世の光の聖名を崇めます。私たちは相変わらず多忙な毎日がつづきます。なぜなら、もうそろそろみなさまがいる日本へ帰国する日が近づいて、いろいろ準備をしているからです。

八月上旬ごろにサンペドロ港（ロスアンゼルス近くの近海にある港で、昨年この港からアメリカに上陸しました）を出発します。

(中略)

さて、話は変わって、ミシガン州のデトロイト市のローア・キリスト教会が私達を招待して

下さいました。

デトロイト市では、たくさん黒人の商店が並んでおります。街を歩いている行人の大部分は黒人です。その黒人の人々は、みすぼらしい生活をしておられるのを見ました。それは白人が黒人を尊敬していないからです。私は彼らと楽しく話合いました。私は日本にいたとき、もちろん黒人のろうあ者に会ったことはありませんでした。日本のみなさまもそうでしょう。

この教会で一人の伝道師（黒人のろうあ者）が遠いアフリカへ開拓伝道に行きましたと言っております。

みなさまもアフリカのためにお祈り下さい。ここで私達たちは日本のメッセージをお伝えしました。そして讚美歌を歌ったりしていますと、彼らは一つも見落すまいとジッと見ていました。

午後九時半ごろ終って集会場を出て帰りました。コリエル師の友人の家には、午前一時半無

事に着きました。私達たちは非常に体が疲れました。

その翌日の朝もまたローア・キリスト教会へメッセージを宣べ伝えるために行きました。約五十名くらいの方々が集まっていました。その信者の方々は、眞の信者ではありません。彼らは神のみことばの靈に飢えているように見えました。誠に気の毒に思いました。

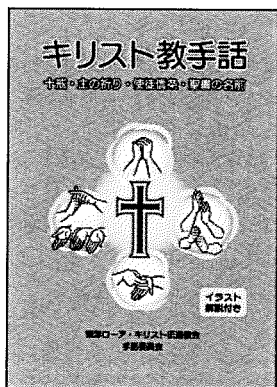
神さまは日本のろうあ者にとれほど大きな愛を注いで下さったかをかえりみて、私は主に深く感謝しております。キリストによる業の上達は、日本のクリスチャンはこちらよりもあまりにも早いです。

私達と共に主に感謝しましょう。どうかみなさまの上にご平安が注がれるように祈ります。

急ぎますのでこの辺でペンを置かせていただきます。

アーメン

好評販売中



『キリスト教手話』

(十戒・主の祈り・使徒信条・聖書の名前)

定価：1,500円

- 統一手話のために発行された「十戒」「主の祈り」「使徒信条」「聖書の名前」を1冊にまとめました。
- 『聖書 新改訳 2017』に対応しています。
- 大きさは、他の小冊子と同じB6判です。

お詫びと訂正

出版案内について以下のとおり、訂正いたします。申し訳ありません。

1月号 (p.5)、2020年11月号 (p.7)

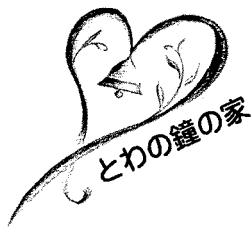
*全国青年の集い 2012年「金持ちの青年と永遠のいのち〈再版〉」

【誤】A4判 300円 → 【正】B5判 200円

1月号 (p.5)

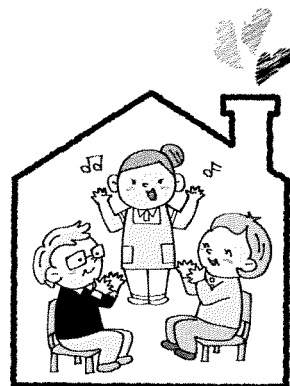
【誤】全国夏期修養会テキスト → 【正】地区伝道会議テキスト

ただいま募集中



職員 1名
健聴者のクリスチャン

入居者 2名
ろうあ者のクリスチャン



※とわの鐘の家は、ろうあクリスチャンが老後も安心して「主の家」で過ごすための共同住宅です。

★連絡先 (本部 事務局) ⇒ 電話 049-294-6012 / FAX 049-295-2779



「心と手のさんび」手話イラストと歌詞解説付き。

第6～12集 リスト

第6集 (900円)

- (聖歌 70) そのとがをみなゆるされ
 (聖歌 86) つくられしものよ
 (聖歌 196) たえなるいのちの
 (聖歌 206) しみもとがも
 (聖歌 280) わがため十字架の
 (聖歌 292) きょうまでまもられ
 (聖歌 338) いともよきものを
 (聖歌 472) 人生の海のあらしに
 (聖歌 501) 主よみちびきの手を
 (聖歌 610) ああイエスキミこよなき友よ

第7集 (1,100円)

- (讃美歌21 13) みつかいとともに
 (讃美歌21 148) 全地よ、主に向かい
 (讃美歌21 512) 主よ、献げます
 (讃美歌21 532) やすかれ、わがこころよ
 (讃美歌21 547) 生まれるまえから
 (讃美歌 332) 主はいのちを
 (讃美歌 461) 主われを愛す
 (讃美歌Ⅱ 185) カルバリ山の
 (聖歌 433) でしとなしたまえ
 (聖歌 699) ああ驚くべきイエスの愛よ

第8集 (1,000円)

- (讃美歌 103) 牧人ひつじを
 (讃美歌 515) 十字架の血に
 (讃美歌Ⅱ 192) シャロンの花
 (聖歌 128) たがいによるこび
 (聖歌 168) いざひとよ
 (聖歌 195) わがめをひらきて
 (聖歌 229) おどろくばかりの
 (聖歌 467) みくにのここちす
 (聖歌 583) 十字架のみもとに
 (聖歌 594) なおもみめぐみを



第9集 (1,000円)

- (讃美歌 9) ちからの主を
 (讃美歌 70) 父、み子、み霊の
 (讃美歌 453) きけや愛の言葉を
 (聖歌 89) たたえまつれ
 (聖歌 138) 君なるイエスは今あれましぬ
 (聖歌 148) きよしこのよる
 (聖歌 296) 主よささぐる
 (聖歌 477) いざみなきたりて
 (聖歌 700) それ神はそのひとり子を
 (青年聖歌 85) 救いの君は待ちたもう

第10集 (1,000円)

- (讃美歌 337) わが生けるは
 (讃美歌 488) はるかにあおぎ見る
 (讃美歌 495) イエスよ、この身を
 (讃美歌Ⅱ 219) さやかに星はきらめき
 (聖歌 129) みつかいのたたえ歌う
 (聖歌 185) 父の神の右にます
 (聖歌 312) すくいぬしはわがため
 (聖歌 576) 聖霊きたれり
 (聖歌 623) いつかは知らねど
 (聖歌 634) 世のおわりのラッパ

第11集 (1,200円)

- (讃美歌 257) 十字架のうえに
 (讃美歌 310) しずけいのりの
 (讃美歌 354) 牧主わが主よ
 (讃美歌 389) 敵を愛せよとの
 (聖歌 397) 遠き国や
 (新聖歌 266) 罪咎を赦され
 (新聖歌 354) 迷えるとき光を
 (新聖歌 372) 聖なる者と
 (新聖歌 397) 神の御子にますイエス
 (青年聖歌 17) つめたい罪の道を



第12集 (1,300円)

- (讃美歌 252) あめなるよろこび
 (讃美歌 400) 主よ、わが痛みの
 (讃美歌 502) いともかしこし
 (新聖歌 108) 丘に立てる荒削りの
 (新聖歌 182) ただ信ぜよ
 (新聖歌 216) ここに真の愛あり
 (新聖歌 257) キリストは生きておられる
 (新聖歌 260) わが胸に響く歌あり
 (福音讃美歌 461) 主のために生きる
 (青年聖歌 83) 聴けや主のささやきを

【讃美歌の部】

- 7 主のみいつとみさかえとを (第1集)
 56 七日のたび路 (第2集)
 66 聖なる、聖なる (第1集)
 87 めぐみのひかりは (第2集)
 98 あめにはさかえ (第1集)
 108 いざうたえ (第2集)
 109 きよしこのよる (第2集)
 111 神の御子は今宵しも (第1集)
 112 諸人こぞりて (第2集)
 121 馬槽のなかに (第2集)
 136 血しおしたたる (第2集)
 146 たたかいおわりて (第1集)
 154 地よ、声たかく (第3集)
 187 主よ、いのちの (第2集)
 199 わが君イエスよ (第3集)
 206 主のきよきつくえより (第3集)
 211 ひつじかいの (第3集)
 239 さまよう人々 (第2集)
 271 いさおなき我を (第3集)
 280 わが身ののぞみは (第1集)
 285 主よ、み手もて (第1集)
 312 いつくしみ深き (第1集)
 338 主よ、おわりまで (第2集)
 391 ナルドの壺 (第1集)
 405 かみともにいまして (第3集)
 428 またき愛たもう神よ (第3集)
 473 とうときわが主よ (第3集)
 499 御霊よ、降りて (第1集)
 539 あめつちこぞりて (第3集)
 541 父、み子、みたまの (第3集)



【聖歌の部】

- 201 キリスト・イエスをもといて (第4集)
 213 いのりにいのりて (第4集)
 345 楽しき学びの園より (第4集)
 347 いかにおそるべき (第4集)
 351 ふたりが合いて (第4集)
 380 このささげものは (第4集)
 382 主よこのところに (第4集)
 385 さかえあれや (第4集)
 392 神はひとり子を (第4集)
 444 われにきかしめよ (第4集)
 450 なにゆえみ神は (第4集)
 451 神なく望みなく (第4集)
 461 ながしたまいし (第4集)
 480 輝く日を仰ぐとき (第4集)
 498 うたいつつあゆまん (第5集)
 521 キリストにはかえられません (第5集)
 522 地のちりにひとしかり (第5集)
 529 ゆきてつげよあまねく (第5集)
 541 みなささげまつり (第5集)
 560 心にあるこの安きを (第5集)
 590 すくいぬしイエスと (第5集)
 595 目には見えねども (第5集)
 604 のぞみも消えゆくまでに (第5集)
 639 なやみおおきうき世を (第5集)
 641 わがつみのために (第5集)



「心と手のさんび」

第1～5集 合本

文字版 (B6) 2,400円

イラスト版 (B5) 2,500円

曲名リスト (全55曲)

※第1集から第5集の単品販売はありません

巻頭写真の言葉

大きな石臼

主イエスの時代、どの家にも穀物を挽くための小さな石臼がありました。写真の石臼はロバに引かせるための大きな石臼です。主イエスは、「小さい者たちの一人をつまづかせる者は、大きな石臼を首に結び付けられて、海に投げ込まれてしまうほうがよい」と言われ、人をつまづかせる罪の恐ろしさを語られました。



報告

◆教会本部

○12月3日(木)

第60回代議員総会

10名

○12月3日(木)

議事録作成・署名委員会

6名

◆聖書学院

(なし)

今月の巻頭言 竹内つづみ師



聖書通信講座第四修了

(修了順・敬称略)

(12月)

佐々木秀千代 (毛呂山伝)

奥野 清 (名古屋伝)

おめでとーございます

本部職員急募



◎会計 1名 (パソコンのできる人) ◎炊事 1名

⇒伝道所の教職者(不在の場合は担当教職者)を通して、事務局長までご連絡ください。

★小早川 昭人牧師 (毛呂山伝)

FAX: 049-211-6240 (変更なし)

〒350-0226 埼玉県坂戸市本町13-14-206

パークプラザ坂戸 (2/2 引っ越し)

新住所